

VIVID LETTER

No. 27

発行 2021/9/1

定期総会を終えて	1
活動・事業報告/研修報告	2
各事業所報告	3
ひとこと通信	4
報告・今回のいちおし	4



“VIVID”は高次脳機能障がい者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

特定非営利活動法人 VIVID(ヴィヴィ)
〒161-0033
新宿区下落合 4-20-16 ルイ1目白 103
TEL : 03-5849-4831 FAX : 03-6908-3364
Eメール hbd-vivid@vivid.or.jp
HP <http://www.vivid.or.jp>

第14回定期総会を終えて 今、思うこと

気候変動によると見られる水害、酷暑・コロナ禍の中でのオリンピック開催。どれをとっても忘れがたい今夏です。

会員をはじめ、わが法人 VIVID をご支援くださる皆様方、いかがお過ごしでしょうか。

さて、2021年6月18日、出席者24人(うちオンライン参加1人、書面表決者5人、表決委任者9人)の参加を得て、第14回通常総会を無事終了いたしました。

総会では、2020年度事業活動報告、決算、及び2021年度事業活動計画、事業計画及び収支予算が、満場一致で議決されました。また、監事からは「コロナ禍の渦中にあり、利用者視点に沿った支援実施、堅実な決算により順調に事業運営がなされている」との評価を受けました。

VIVID 発足来、代表理事だった池田敦子さんの後を受け、法人開設以来の理念「障害のある人もない人もお互いの人格と個性を尊重し相互に助け合いの社会づくり」の実現に向け活動してきましたが、コロナ禍において、まさに VIVID の存在意義を問われる1年となりました。

「中長期計画」を基盤に立案した事業計画は、毎回の「経営会議」「理事会」で進捗を確認しながらそのつど課題の再発見、改善策の検討を図ってまいりました。障がい者、特に高次脳機能障

特定非営利活動法人 VIVID
代表理事 北村とし子



商品であふれる
フレッシュストア入り口

作業が早く終わり、
めずらしくゲーム
に興じました。
こんな日もあって
いいね！



がい者支援は14年の経験はあっても、法内事業の運営には疎く、知見のある理事のみなさんからそのつど貴重なご意見を頂戴しています。

就労継続支援B型事業所のフレッシュスタート目白(フレスタ)は、幸いにも利用者数がほぼ計画通りに確保できており、安定した事業収入が得られています。また、利用者の定着を図る取り組みに、利用者の障がいを理解し利用者寄り添った支援を心がけています。そのため職員の支援者としての立ち位置等、支援スキルの向上に研修の機会を増やすなどして努力してきました。

今年度もさまざまな課題に真摯に向き合い、法人内に留まらず、地域内連携を深め利用者の生活の幅を広げると共に、安心・安全な支援を提供

していく所存です。利用者からは「フレスタ」が「居場所」として期待されていますが、それに応えつつ今後さらに、就労継続支援B型事業所の使命として就労を推進するための取り組みを視野に入れた支援の必要性を感じています。嬉しいことに今年度は一人の就労者を社会に送り出すことができました。福祉的就労から一般就労が現実

のものとして、利用者のモチベーションに繋がっていることでしょう。

収束の見えないコロナ禍にあって感染予防対策に苦慮しながらの毎日です。

一日も早く平穏な日々が戻ることを祈るばかりです。

2020年度の活動・事業報告

VIVIDの事業活動は、独自事業である高次脳機能障がい者支援事業と障害者総合支援法に基づくサービス事業の二本立てです。法内事業は障害福祉サービス事業のB型事業所(フレスタ)と指定特定相談支援事業所の運営です。

フレスタの主な事業はリユースショップの運営、新宿区からの受託の地域緑化事業です。コロナ禍で年度初めに店舗を休業していましたが、秋以降の売り上げは順調で、前年度並みの工賃を支払うことができました。ビーズ製品、動物用クッキーなどの自主製品の売り上げは、イベントがほぼ中止となり伸び悩みました。

セールのお知らせと高次脳機能障がいの症例紹介の連載企画を掲載した「フレスタだより」を5回で1万枚を地域に配布し、独自事業でできな

かった障がい理解の普及活動を行いました。ショップへの寄付は途切れることがなく、フレスタが地域に浸透していることを実感しています。

相談支援事業では、計画通りの支援を行い、前年度比1.5倍の給付金が受給できました。

○収入

会費	260,000 円
寄付	1,237,562 円
受取給付金	28,846,160 円
助成金・補助金	9,988,354 円
就労支援事業(※)	5,667,798 円

○支出

人件費	27,017,307 円
利用者工賃	5,689,279 円
その他経費	9,367,175 円

※リユースショップ・自主製品の売上、請負事業の受託費など。工賃に充てる事業。20年度はコロナ関連で同事業に補助(補助金欄の金額に含む)があったため、支出の工賃額が同事業収入より多くなっている

2020年度決算報告、事業報告、2021年度事業計画はホームページをご覧ください。

研修実施報告

VIVIDでは支援力の向上を目的に、年4回、全職員が参加する内部研修を行っています。

今年度は次の内容で、既に2回開催しました。

5月:人権擁護と虐待防止

失語症とは

7月:合理的配慮について

精神障がいとは

内部研修の際は、職員同士で意見交換する時間を大切にしています。虐待防止や合理的配慮は、概念の理解はできても、普段の支援にあてはめると悩ましい場面が多くあります。「利用者が外に出て行こうとするとところを止めたら虐待?」「○

○をやりたいと要望があったけど、それを全部叶えることはできるだろうか」などの疑問を、研修を受けて改めて職員同士で話し合うことで、よりよい支援方法を模索しています。

また、支援の考え方は職員それぞれの人生観が反映されます。利用者に、よりチャレンジしてほしいか、堅実になってほしいか、社会のマナーを守ってほしいか、縛られずに生きてほしいか。意見交換の中で、自分とは異なる考え方を知ること、知らず知らず形作られていた自分の支援傾向を自覚することができます。これも意見交換を行うメリットだと考えています。

(研修担当:遠藤伸)

就労継続支援 B 型事業所 フレッシュスタート目白

フレスタの活動風景をお届けします。（管理者：遠藤伸）



コーヒー豆選別

焙煎前の豆を、良い豆、欠点豆、と選り分けていく作業。「7beans coffee」から請負っています。
根気のいる作業ですが、この工程でコーヒーが驚くほどおいしくなるそうです。



創作活動

月に1回、ボランティアの方に教わって、ペットボトルで風鈴を作ったり、絵手紙を描いたりしています。



地域緑化事業

新宿区からの委託で、特別養護老人ホームの庭に花を植えています。年に4回は大規模な植え替えを行います。
フレスタ発足初年度から受託して4年目に入り、花の配置を工夫して植えられるようになりました。



高次脳機能障害相談支援 VIVID

【相談事例から】…介護者である親の高齢化は待たなし

脳腫瘍の術後、高次脳機能障がいが残られた50歳代の女性の母親からの相談を受けました。娘さんは離婚の際、元夫が子どもを引き取り、それ以降は没交渉とのこと。発病後は、80歳代の母親が介護をしてこられました。身体的な衰えなどにより、娘さんの世話が難しくなっています。

現在、日中のデイサービスに参加しているけど、今後どうしていけばよいかとの相談でした。お母さまは看護師をされていた経験もあり、何が何でも自分が面倒を見ると頑張っておられた方

ですが、年齢を重ね介護が厳しくなるのは当然のことです。しかし、娘さんを引き受けてもらえる施設が少ないという現実にあたっておられるのです。

高次脳機能障がいでもこのような方がたくさん出てきています。制度整備の必要性を切実に感じています。

（管理者・相談支援専門員：太田三枝子）

ひとこと通信



病院の方々に感謝！
今、こんなに元気です。
フレスタで商品の
検品作業中

突然病気になり、今までの生活が一変。派遣ともう 1 つの割の良い派遣のヘルプの仕事をしていて。大切な子どもとの時間も忙しくてとれてなかった。好きな服を着て、音楽を聴き、お酒を飲み、そして貯金ばかりしていた。自分で決めた離婚なので子どもを育てあげようと決心していた。子どもは春に小さい頃からの夢＝小学校の先生になるべく大学生になった。先輩にアドバイスをもらい、平日を 1 日休みとする単位調整のスケジュールでお小遣いのために 2 つのバイトでやりくりしている。病気で親や姉妹とコミュニケーションをよくとるようになった。LINE も毎日。東京が好きで 2 回も家出をし、心配をかけた私。今では会えない分、大久保の惣菜や韓国コスメを送ったりしている。田舎コンプレックスから、選択の幅と自由が魅力的な東京で子育てをしていと思っていた。私もまだこれから。泣きじゃくりながら救急車を呼んで命を助けてくれた子どもに 1 日でも長く傍にいてあげたいと思っている。迷惑かけない程度に長生きをし、お金を残し親の役目をちゃんと果たさないかね！！



吉永理恵

※フレッシュスタート目白（フレスタ）の利用者さんの寄稿

ご寄付の報告

この紙面を使って、ご寄付の報告を行うことにしました。

●VIVID へのご寄付

VIVID LETTER 前号発行日・2021 年 3 月 1 日～7月31日までいただいた寄付金の合計は、延べ 32 人、415,600円 でした。

●フレッシュスタート目白へのご寄付

フレスタは、毎日、たくさんの品物をご寄付いただいています。おかげさまで、リユースショップは、毎日、品物でいっぱいです。

2020年度は、コロナ禍で休業期間もあり合計で 1132 件でしたが、今年度は、4 月 160 件、5 月 151 件、6 月 184 件、7 月 103 件です。

みなさまのご厚意で VIVID の運営も順調です。大勢に支えられていることに感謝です。

ご寄付のお願い

ご協力はいつでも受け付け中！
よろしくお願いします。

【銀行口座への振込の場合】

三井住友銀行 国立支店
普通 7854639

名義 特定非営利活動法人 VIVID

【郵便振替口座への振込の場合】

郵便振替口座 00130-7-780312

加入者名 特定非営利活動法人 VIVID

今回のいちおし 愛犬のためのクッキー

「買って帰ると、うちの子が飛びついてくるの」と評判の愛犬のための贅沢な無添加クッキー！

材料は、質にこだわる あの生活クラブ生協の物だけを使っています。

つまり…国産の小麦粉、エキストラバージンオリーブオイルなど…ほんとに贅沢です。

嬉しそうに食べてくれるワンちゃんたちの顔を思い浮かべながら、フレスタで製造しています。

販売は、店舗だけでなく通販でも承っています。NP0 法人アビリティクラブたすけあいでも通販いただいています。お試しになりたい方、ぜひお問い合わせください。



写真左から

- チーズが香ばしい
チーズ味
20g ¥200 40g ¥350
- 風味豊かな煮干し味
20g ¥150 40g ¥250
- くせのないおから味
20g ¥150 40g ¥250

編集後記

もっと活動の内容を知りたい！という声に励まされ、4 ページだてを復活させました。いかがだったでしょうか？（金尾）